

単元名 くくるクランク(工作)

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) クランクの動きの特徴を理解し、動きを利用しながら工夫して工作に表すことができる。
 (2) クランクの動きを試しながら、つくりたいものを想像するとともに、友達や自分の作品のよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めることができる。
 (3) クランクの動きを試しながら、主体的に工作に表す活動に取り組もうとする。

基本的な展開

06080103_001

【準備等】参考作品，工作用紙，色画用紙，両面色画用紙，段ボール，竹ひご，材料（空き箱，ペットボトルのキャップなど），針金，ストロー，ペンチ，目打ち，カッターナイフ，カッターマット，はさみ，化学接着剤，のり

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 教科書の参考作品を見て，学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ クランクの動きを見る。 ○ クランクの仕組みを使った参考作品を自由に動かす。 <p>★楽しく動くおもちゃをつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 仕組みについて知る。 ○ アイデアスケッチをかいいて，作品の構想を練る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心になるもの ・ 周りのものの形 <p>2～5 アイデアスケッチに基づいてつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ クランクの仕組みをつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ペンチの使い方 ・ 針金の曲げ方 ○ 中心になるものや周りのものをつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心になるもの ・ 周りのもの ○ クランクを動かして，動きを確かめる。 <p>6 友達と作品を交換して楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作品を交換して，みんなで楽しく遊ぶ。 ○ 作品のよさや面白さをみんなで話し合い，発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2つのクランクが交互に動くので違った動きに見えて面白いです。 ・ 動物がジャンプする様子がよく表れています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 5・6 年下 P.16,17 ・ 教師は参考作品を提示して，そのクランクを動かして見せ，興味をもたせる。 ・ クランクの仕組みを使った参考作品を，児童に動かさせることで，仕組みや動きをつかませる。 ・ クランクの参考作品を動かしながら，仕組みを説明する。 ・ 動きからイメージをもたせ，中心になるものと周りのものとの関わりを考えながら構想を練るように促す。 <p>【評】クランクの動きを試しながら作品の構想を練る活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペンチで針金を固定し，親指で針金を押さえて直角に曲げるように助言する。 ・ 針金を曲げる方向と動きをつかませる。 ・ 動かしながら，いろいろな方向から見てつくっていくように伝える。 ・ できた作品を動かして，スムーズな動きになっているか確かめさせる。 <p>【評】クランクの動きを利用しながら工夫して作品を制作する活動を通して，「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】クランクの動きを試したり，材料を使って表現したいものをつくる活動を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と作品を交換して遊びながら，作品のよさを感じ取らせる。 <p>【評】友達の作品のよさや動きの面白さを感じ取る活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】これまでの学習活動や作品を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】